

東洋グリーン 殺菌剤プログラム 2020

6~7月おすすめ殺菌剤

	製品名	有効成分名(1)	成分%	FRAC作用点・グループ	コード	耐性リスク	有効成分名(2)	成分%	FRAC作用点・グループ	コード	耐性リスク		
6月	オナー WDG	ボスカリド	13.6	SDHI	C2	7	中~高	ピラクロストロピン	6.8	Qol	C3	11	高
	オーソサイド水和剤80	キャプタン	80	多作用点接触	M	M4	低	—	—	—	—	—	—
	ボンジョルノ乳剤	テトラコナゾール	25	DMI	G1	3	中	—	—	—	—	—	—
	ターフシャワー	プロパモカルブ塩酸塩	66.7	カーバメート	F4	28	低~中	—	—	—	—	—	—
	ディサイドフロアブル	ピラジフルミド	20	SDHI	C2	7	中~高	—	—	—	—	—	—
7月	グリーンエイト顆粒水和剤	ポリオキシシン	4.5	キチン生合成酵素	H4	19	中	トルクロホスメチル	50	脂質生合成	F3	14	低~中
	ザンプロターフ	アメトクトラジン	18.9	QoS	C	45	中~高	—	—	—	—	—	—
	シグネチャー WDG	ホセチル	79.4	抵抗性誘導	P7	P7	低	—	—	—	—	—	—
	オーソサイド水和剤80	キャプタン	80	多作用点接触	M	M4	低	—	—	—	—	—	—
	ベスグリーンDF	アミスルブロム	50	Qil	C4	21	中~高	—	—	—	—	—	—
	デディケートフロアブル	テブコナゾール	18.2	DMI	G1	3	中	トリフロキシストロピン	8.8	Qol	C3	11	高

- ◆今年春先より昨年に比べ、炭疽病・ピシウム病等が多発傾向にあります。また、これからの時期ダラースポットへの対策も必要となり、いよいよベントグリーンの夏越しに向けて対策を行います。
- ◆最近、「**オナー WDG**」や「**ディサイドフロアブル**」等、ダラースポットや各種病害に効果が高い殺菌剤が発売され、ユーザーの皆様から多くのご要望をいただいております。
- ◆しかし、これらQol・SDHIといったグループの剤は高い効果が期待できる反面、耐性菌のリスクも高いと考えられています。
- ◆東洋グリーン殺菌剤プログラムでは、Qol・SDHI剤だけに頼らない殺菌剤ローテーションを推奨しています。
「**オーソサイド水和剤**」・「**ターフシャワー**」・「**グリーンエイト顆粒水和剤**」・「**シグネチャー WDG**」等、耐性菌リスクの低い薬剤をローテーション防除に入れることにより、オナー WDG・ディサイドフロアブル・デディケートフロアブル等の剤もより効果的に使用できるものと考えます。
- ◆ピシウム病・赤焼病剤の「**ザンプロターフ** (QoS)」や「**ベスグリーンDF** (Qil)」は、Qol剤と近いグループに分類されていますが、Qolとの交差耐性はないと考えられています。 ※各薬剤をクリックすると詳細が確認できます。【外部リンク(メーカーHP)へ移動します。】